

スクラム

決勝トーナメント進出 ベスト8の快挙



○文化祭お疲れさまでした。各学年の素晴らしい合唱、弁論や意見発表、生徒会発表に作品展示等、ご指導、そして準備にお世話をかけました。本当にありがとうございました。多くの保護者の方に「例年素晴らしい!」「毎回、来るのが楽しみです」と声をかけていただきました。これも、先生方の日頃のご指導のおかげです。生徒達が成長し自分たちの頑張りを表現する姿に私も感動します。各クラスで生徒達を誉めてください。お互いが自分の役割を全力で果たししっかりとスクラムが組めました。

□生徒のつながりのある授業づくり

4月の学級開きから半年。一年の折り返しが過ぎました。学習規律と支持的な風土が先生方の努力で育っていると感じています。教室環境の整備、時間を守る(二分前チャイム席等)、授業でのあいさつ、人の話を聞くことはもちろん、授業の雰囲気や壊すような発言は見逃さず「わからない」と言える環境をつくるのが大切です。私たちは生徒の「わからない」という発言をひろっていくことで授業を深め、生徒の学びを繋いでいくように心がける必要があります。

生徒の学力を保障するには・・・

まず一日の大半を費やす授業が大切にされなければいけません。一学期の「生徒の授業評価」の結果を見られたでしょうか。できれば教科部会等で「授業評価」結果を通してどのような授業をつくっていくのか話し合いながら、授業の改善点を確認し合い、生徒に示すことも必要です。また、班長会で自分たちの授業を振り返り、成果は共に喜び合い、課題については改善策を立てて取り組む。生徒の自主性を育てるためにも重要なことだと思います。生徒たちがお互いで教え合いながら、「どうして?」「それは」「一緒にやろう」「ありがとう」という言葉の連鎖を教室の中に広げていくことが、さらなる信頼関係を築いていくことにもなると思います。今の班は生活班でもあり学習班でもあり関係性が強くなります。その中で班長が中心的な役割を担っています。ぜひ班長を中心に「教え合う」「学び合う」時間を大切にすることで、勉強の苦手な生徒が「どうせやっても・・・」という投げやりな態度から「やってみよう」という意欲に変わっていったら最高です。一人では頑張れないけど、友達となら頑張れる。浮羽中の協働学習につながる内容です。ぜひ、友達とつながる楽しさ、心地よさを体験させる取組を考えていきましょう。

□校長、人権・同和教育担当者研(10月8日 大石小学校)より

大石小学校 6年生 社会科 単元「近代国家に向けて」 鶴田 圭祐先生

全国水平社運動の学習内容でした。来年4月には浮羽中に入学をしてくる25名。授業を参観して感じたこと、小中連携の中で、中学校でも大切にしたい姿をお知らせします。

- ・学習規律七か条が徹底できている。授業はじめの姿勢、あいさつの大きな声。
- ・手を真っ直ぐに伸ばした姿、指されたあとの返事。発表の大きな声。
- ・水平社をキーワードに各自でめあてを考え、発表する積極性。
- ・自分の予想や考えを、グループ(2~3名)で出し合い意見を述べる協働学習の姿。
- ・学習プリントにしっかりと書き込んでいく力。
- ・教室に掲示された月ごとの子どもの様子。きれいに整理された教室環境。

学習内容もよく工夫されていました。本当に子どもたちはよく鍛われていました。

